

京都教区時報

第175号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
 編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生淵町26 Tel 822-7123

特集・第2回福音宣教推進全国会議にむけて

新年あけまして おめでとうございます

第2回 福音宣教推進 全国会議の準備の年に

京都教区司教
ライムンド田中 健一



1992年 明けまして おめでとうございます。
 どうかこの1年、形こそ異なれ、皆様お一人おひとり
 の上に、神のお恵みが豊かにありますようお祈り申し
 上げます。

昨年、世界状勢の変化は特にソ連を筆頭に、東欧諸
 国においてはすさまじいばかりのものでした。
 あれほど強固と思われた鉄のカーテンと言われるも
 のがこれほど簡単にくずれていくのを見るにつけ、た
 だ驚かされるばかりです。

日本経済もバブル経済とか言われ、その矛盾や、も
 ろさや、うみと言つたものがじみ出ている様に思え
 ます。

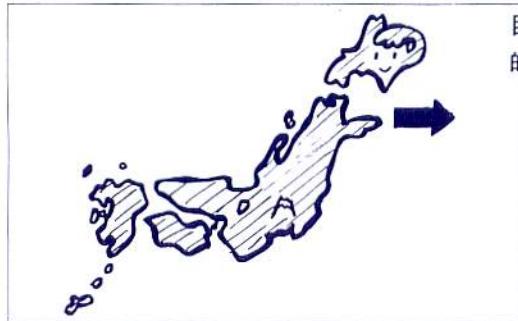
ピナツボ火山、雲仙岳の大爆発、私達の姉妹教区を
 被つたパングラデシュの大洪水など心痛める体験をさ
 れられています。これらみな大きな痛みではあります
 が、でも私達の叡智と信仰を傾け、神の恵みと導きを
 祈り求めながら、乗り越えなければならない道程の様
 にも思われます。

一方日本の教会にあつては、バチカン公会議、京都
 教区ビジョン及び福音宣教推進全国会議（ナイス）の
 路線に沿つて自己刷新に努めています。

さて今年、'92年は第2回ナイスに向けての準備の1
 年であります。司教団は、12月9日から10日にかけ、
 第2回ナイスのテーマ「家庭」についての研修会を開
 き、又続いて行われた司教総会において、第2回ナイ
 斯で司教団が本当に願っているのは何かを話し合いま
 した。その事につきまして、別頁に記載していただき
 ましたので熟読、熟考して下さるようお願いします。

以上の訴えとお願いをかねて、「92年度、新年のご挨
 摠に代えさせていただきたいと思います。
 皆様の上に神様の祝福がありますように。

1. 福音宣教推進全国会議(NICE)とは何でしょうか？



目的

日本の教会の
長期的展望を
きめる。



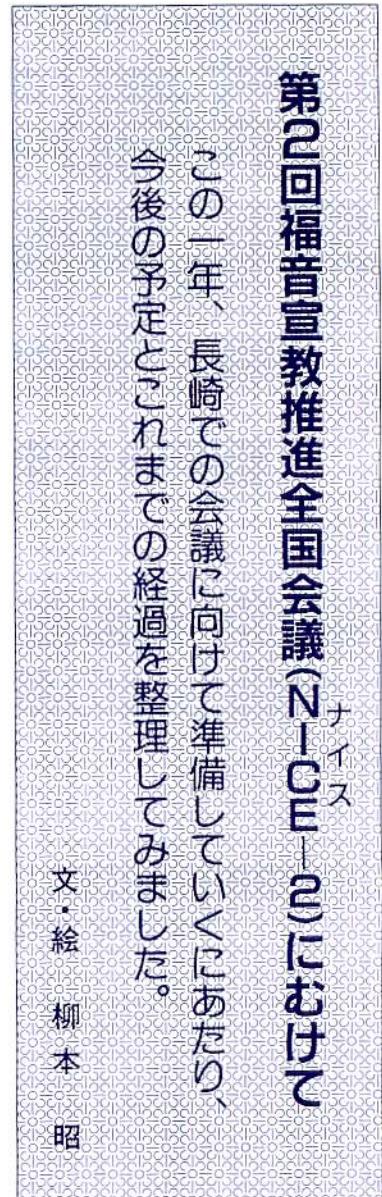
主体

神の民全員
(信徒、修道者、
司祭、司教)



視野

全国的、国際的。

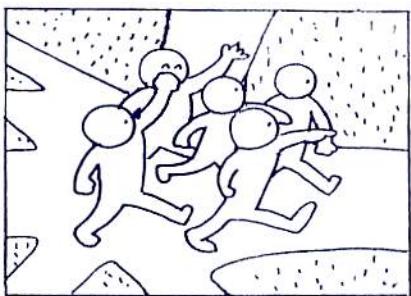


2. NICE-1とNICE-2のかかわりは？

NICE1で「開かれた教会づくり」という日本の教会の方向性が決められました。第2回NICEはこの開かれた教会づくりというNICE1の方向性の中で行われます。「家庭」というテーマを通してさらに開かれた教会づくりを進めていくよう考えていきましょう。



①あちこちむいて停滞していた日本の教会を。



②開かれた教会づくりという(NICE1)一つの方向性にむけて動かしはじめた。



③NICE2は、さらに、その方向を進めていくために行われる。

3. そこで私たちは……

- 1) まず、NICE-1の歩み(ともに喜びをもって生きよう参照)を確認することからはじめます。NICEでだされた方向性とは何だったのか、その方向性はわたしたちの共同体、教会でどれだけ生かされ、その実りが見られるでしょうか。
- 2) そして、これから話し合うための課題が決められます。どのような課題を決めたらよいか考え、話し合って下さい。

4. 教区としての取り組み

- 1) 司教団から出された質問をアンケートとして集めます。共同体の意見、グループで話し合った意見を書いていただきたための用紙を作成し、配布いたします。(4月中頃まで)
- 2) 聖香油ミサの講演会(3月26日)を家庭についての内容で行います。
- 3) 司祭研修会(8月24~26日)を、NICE2にむけての内容で行います。
- 4) NICE2にむけての公聴会を開くために準備していきます

みなさんのご協力をよろしくお願いします。



Sr イヴアラランシス(聖靈会)	A MOR 事務局	A MOR 事務局移転のご案内	帰天 ゼリア・フォルテンさん(91歳) 1月1日 PM 3時(日本時間) フォルテン師ご母堂	司祭異動 高山信徳師(前、河原町教会)
Sr モーリン(メリノール修道女会)	Sr レジナ景山(善きサドリア人会)	AMOR の事務局、アジアサビスセンターは司教様のおゆるしを頂き8年間会館に事務所を開かせて頂きました。スタッフ一同喜んで働きました。この事務局は1992年1月より韓国ソウルに移ります。教区の皆様はじめ司教様に感謝いたします。		

一人一人の声がこれからの NICE2に反映されます (ナイス)



司教団は、「91年12月9～10日にかけての司教研修会に各教区の第2回福音宣教推進全国会議担当司祭を招待し、司祭を通じて、各教区の信者の皆さまの思い、願い、意見を聞きました。さらに、司教総会にて下記のように確認と決定をされました。

次に、この確認と決定に基づいて第2回福音宣教推進全国会議を準備していくにあたり下記のような質問がだされました。司教団は全国の信徒、修道者、司祭の皆さまが、ここに込められた思いを汲み取ってくださることを願つています。そして第2回福音宣教推進全国会議の基本的な趣旨をご理解いただいた上で、これからどのようなことについて討議していくらよいかという課題案を皆さまからお寄せいただきたいと考えています。

お願い

みなさまのご意見は、4月末日までにナイス準備委員会までお送りください。

〒606 中京区河原町通三条上ル

教区事務所気付

ナイス準備委員会

1 福音宣教推進全国会議そのものについての確認
 「福音宣教推進全国会議は、全国の神の民が福音宣教の推進のために、ともに考え、ともに歩む方向を探り、その結果を司教団に答申する会議です。」

2 第2回福音宣教推進全国会議についての決定

「第2回福音宣教推進全国会議は、小教区や各共同体を中心に、日本の現代社会構造の中にある『家庭』の光と陰の両面を分析し、把握しそこに福音的価値を見いだし、福音の光のもとに『家庭』のあり方を探ろうとするものです。」

1991年12月13日 日本カトリック司教団

質問

① 現代日本の社会構造は、皆さまの「家庭」にどのような影響を与えているとお考えでしょうか。

② 現代の「家庭」には光の部分と陰の部分があると言われますが、そ

の光や陰とは、何を意味しているとお考えでしょうか。

③ 皆さまの「家庭」には福音的価値はあると言われますが、この場合

の福音的価値とは、どういうことを意味しているとお考えでしょうか。

④ 福音の光のもとに「家庭」のあり方を探るというのは、どのようなことをしていくことだとお考えでしょうか。

⑤ このような第2回福音宣教推進全国会議の趣旨を全うするために、皆さまがお考えになる提案理由を付けて、課題案をお聞かせください。

これからどのようにことについて討議していったらよいとお考えになれるでしようか。

1991年12月18日

第2回福音宣教推進全国会議事務局担当
島本要大司教、三木篤実司教、濱尾文郎司教

家族幻想を問う

宮川信子

(カトリック正義と平和
京都協議会)



語って下さい
パン計
パンがふくらむ

教会暦によると降誕祭の後には「聖家族の祝日」が来る。イエスには母と養父がいた。マリアはすべてを受け入れたが、もしヨセフが当時の習慣どおり子連れのいいなしづけを拒否していたらどうなつていただろう。当時シングルマザーが生きる術などあつたのだろうか。戸籍調査のためベツレヘムに行くこともなかつただろう。イエスはマリアの籍に入れられたのだろうか。

今、私は「婚外子差別」とたたかう会」が行つている「住民票統柄差別記載撤廃のための要望書」への署名集約に協力しているが、教会での反応はいまいちである。日本の法律では非嫡出子の相続分を嫡出

子の半分とし、これを理由に戸籍・住民票へのあからさまな差別記載が行われている。家族をまとめた場合には非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範囲を広げることで克服できるといふ錯覚はもたないほうがよいと思

子の半分とし、これを理由に戸籍・住民票へのあからさまな差別記載が行われている。家族をまとめた場合には非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範

う。教会や企業を家族的であると評価したり、篠川流に「人類はみな兄弟である」とか、神のもとに載が行われている。家族をまとめるために非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範

う。教会や企業を家族的であると評価したり、篠川流に「人類はみな兄弟である」とか、神のもとに載が行われている。家族をまとめるために非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範

う。教会や企業を家族的であると評価したり、篠川流に「人類はみな兄弟である」とか、神のもとに載が行われている。家族をまとめるために非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範

う。教会や企業を家族的であると評価したり、篠川流に「人類はみな兄弟である」とか、神のもとに載が行われている。家族をまとめるために非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範

う。教会や企業を家族的であると評価したり、篠川流に「人類はみな兄弟である」とか、神のもとに載が行われている。家族をまとめるために非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範

う。教会や企業を家族的であると評価したり、篠川流に「人類はみな兄弟である」とか、神のもとに載が行われている。家族をまとめるために非嫡出子を中心に入れこんではならないからだ。私達が「家族」というものをいかに美しくイメージさせられようと、「家族」の持つ排他性とエゴの実態がここにむきだしにされる。その最たる例が、「ロイヤルファミリー」だ。非嫡出子ではだめなどろか、「正常な」結婚という際にも、相手が「庶民」であることは宣伝になるが、あれほど堂々と(?)部落差別、障害者、女性差別、外国人差別をしても問題にならない結婚というのではない。これはもちろん天皇家の結婚差別をなくして部落出身者や障害者が「嫁入り」できるようになつたらいいといつたたぐいの主張をしているわけではなく、天皇制はそれ自体許せないと思つてゐるが、ここでは家族制度のエキス化された形として「ロイヤルファミリー」の罪悪性をあげてみたわけである。

この家族の差別性と排他性は範



お知らせ

教区スケジュール

1月	2月	3月
4日 司祭修道者懇親会	2日(日)結婚相談室開設(PM 1時30分)	1日(日)ひなまつりバザー
13日 家庭研究会	4日 教区合同洗礼志願式 (河原町教会PM 2時30分)	8日(日)司祭評議会 結婚相談室開設(PM 1時30分)
14日 第2回福音宣教推進全国会議公聴会準備会	13日 14日 親睦二金会(毎月第2金曜日)	5日 修女連総会
15日(祝)青年センター発足3周年 BAZAAR	召命の集い(毎月第4日曜日)	9日(土)高野教会黙想会 家庭研究会(AM 10時30分)
26日(日)子羊会例会(高野教会)	30日 司祭評議会	10日(日)部キ連主催 ノートルダム女子大学卒業式
30日 司祭評議会	召命の集い(毎月第4日曜日)	12日 ノートルダム女子大学卒業式 「狹山現地学習会」
24日~26日 小学生侍者合宿	24日(日)結婚相談室開設(PM 1時30分)	15日(日)助祭叙階式予定 (桃山教会PM 1時30分)
22日 聖ベルナデッタ祝日・ミサ (聖母学院中高等学校)	3日 古屋司教追悼ミサ(高野教会)	21日 平和への歩み実行委員会 聖母学院中学校卒業式
22日~23日 青年センター運営委員会合宿	10日 家庭研究会(AM 10時30分)	18日 正義と平和協議会講演会 「水平社の原点と70年後の現在」
23日 員合合宿	14日~16日 マリッジ・レトルノ 部落問題委員会学習会	21日~22日 中高生侍者合宿・黙想会(メリノールハウス)
	15日 部落問題委員会学習会	22日(日)助祭叙階式予定 (河原町教会PM 3時30分)
	22日 「良心と差別」	26日 聖香油ミサ AM 11時45分
		27日~29日 C B S 宗教トレーニングキャンプ 「水平社宣言に学ぶ」

日 時	場 所	主 催	テ マ
2月15日(土)午後7時~9時	河原町カトリック会館6F	日本カトリック部落問題委員会	▼部落問題委員会の学習会 「良心と差別」

'92年カトリックきょうと福音センターもよおし一覧

講座・教室・コース	会 費	日 時
書道教室	月謝2,000円(1,800円)	(毎週金)午後2時~4時30分
手話教室	月謝1,200円(1,000円)	(毎週火)午前10時30分~12時
典礼講座		6月と12月に予定
祈りのコースⅠ	17,000円(16,000円)	6月19日~21日(唐崎)
〃Ⅱ	17,000円(16,000円)	7月10日~12日(唐崎)
病人司牧コース	17,000円(16,000円)	8月28日~30日(津)
基礎コース	21,000円(20,000円)	9月12日~15日(広島)
基礎コース	21,000円(20,000円)	11月20日~23日(唐崎)

★()内の料金は福音センター友の会会員の割引き金額

★恒例 ひなまつりバザー

ただ今、バザーの商品大募集!

(古着、食品、日用品など)

日 時 3月1日(日) 午前11時~午後2時
場 所 西院カトリック会館大ホール

★主催・問合せ先

〒604 京都市中京区壬生淵田町26
西院カトリック会館内
カトリックきょうと福音センター
☎ 075(822)7123
FAX 075(822)7020

これからは信徒を中心の時代といふ話を聞くが、信徒、信徒といつて金銭面でも教会を支え、活動面でもその中心になると期待されるのはうれしいが実際はどうであろうか。まずは現在のタテ社会の教会の伝統をかえ、司教も人事異動し、停年も早め、思い切った組織改革をして、始めて信徒中心の時代といえるのではないか

(N)

